

HIMARAYA

第47期

中間報告書

2021年9月1日～2022年2月28日

株式会社 **ヒマラヤ**

[証券コード 7514]



株主の皆様へ

株式会社ヒマラヤ
代表取締役会長兼社長

小森 裕作

平素は格別のご高覧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループ2022年8月期(当社第47期 2021年9月1日～2022年8月31日)の中間決算を行いましたので、ここにご報告させていただきます。

1. 当中間期の日本経済の動きについて

当第2四半期連結累計期間(2021年9月1日～2022年2月28日)における我が国の経済は、新型コロナウイルス変異株による感染再拡大に加えて、海外情勢の急激な変化等による資源価格の高騰、物品・サービスの値上げの傾向も顕著となり、先行き不透明な状況が継続いたしました。

当社グループが属しておりますスポーツ用品販売業界におきましては、12月中旬から気温が順調に低

下し、気候面では恵まれた環境となりましたが、他方、感染対策によるスポーツ活動の制限により、需要の抑制傾向が継続しております。

このような状況のもと、当社グループでは、中期経営計画における重点施策を推し進めることにより、売上高は当初計画通りの進捗となりました。

既存店の売上は、緊急事態宣言等の影響を強く受けた月を除けば、前年同期と同水準以上で推移し、EC事業では当第2四半期連結累計期間を通じて、計画を上回るペースで推移しております。

一方で、利益面においては、当社の強みである機動力を十分に発揮出来たことが奏功しました。急激に変化する環境下において、販売商材の峻別と在庫コントロールを迅速かつ確に実施し、当初計画値を大幅に上回る結果となりました。

2. 出退店の状況について

出退店の状況については1店舗を出店し、2店舗を退店いたしました。2022年2月末時点で当社グループの店舗数は全国で97店舗、売場面積は209,148㎡であり、前年同期比で店舗数は2店舗減、売場面積は3,335㎡減となりました。

3. 当中間期の業績について

商品別の売上動向としては、部活動をはじめとする様々なスポーツ活動が抑制されている状況から、一般スポーツ用品は低調な推移となりました。一方で、アウトドア用品は前期に引き続きキャンプ需要が高い水準を維持していること、ゴルフ用品は初心者層の参入による活況な市場環境が継続していること、スキー・スノーボード用品は降雪に恵まれたシーズンとなったことから、それぞれ好調に推移いたしました。

販売費及び一般管理費については、新型コロナウイルス変異株、海外情勢等による市場動向の変動に応じて、予算行使の優先順位を適宜見直しながらも、既存店の改修をはじめ、今後の成長に向けた投資活動を重点的に実施いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は売上高28,238百万円(通期計画進捗率47.9%)、営業利益1,144百万円(前年同期比34.2%増)、経常利益1,341百万円(前年同期比40.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益803百万円(前年同期比38.9%増)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準

第29号(2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当第2四半期連結累計期間の売上高については、当該会計基準を適用した後の数値となっているため、前年同期比を記載せず、通期計画進捗率を記載しております。

4. 連結業績予想について

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受ける期間があったものの、冬場の気温が平年よりも低く、降雪にも恵まれたことから、スキー・スノーボード用品や防寒衣料、雑貨などの季節商材の需要が高まり、好調に推移いたしました。

これにより、同期間の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を上回る見通しとなりました。

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス変異株、海外情勢による資源価格の高騰、物品・サービスの値上げなどの影響を踏まえ、下半期の見通しを当初計画よりも保守的に見直しますが、第2四半期連結累計期間の業績により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見通しとなりました。

これからも社員一同精一杯努力を続けてまいりますので、今後とも株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

詳しくは当社ホームページ
「IRデータ」をご覧ください

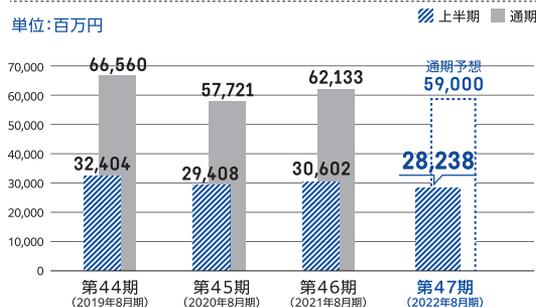


売上高

28,238百万円

前年
同期比 **—** ※

単位:百万円



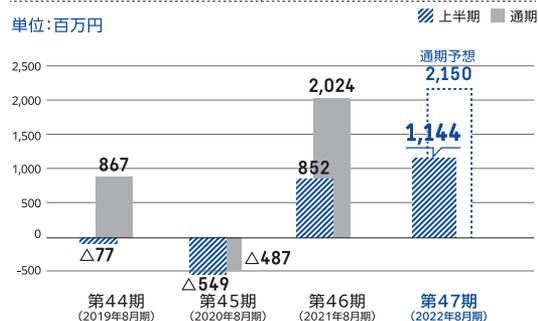
※ なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

営業利益または営業損失(△)

1,144百万円

前年
同期比 **134.2%** ↗

単位:百万円

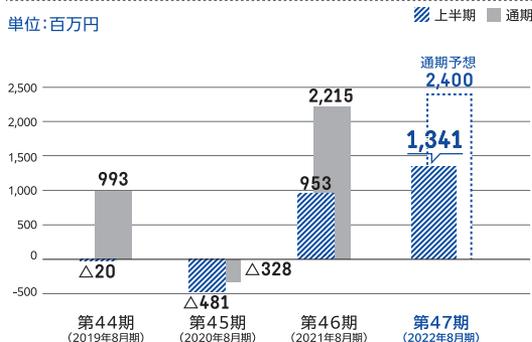


経常利益または経常損失(△)

1,341百万円

前年
同期比 **140.6%** ↗

単位:百万円

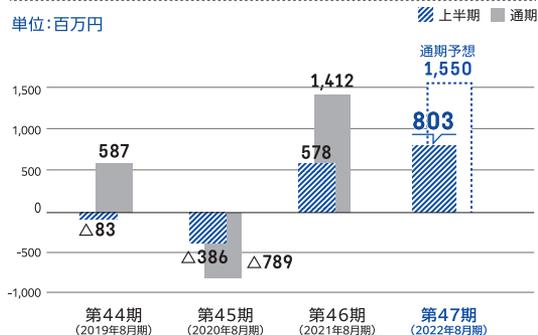


親会社株主に帰属する当期純利益または当期純損失(△)

803百万円

前年
同期比 **138.9%** ↗

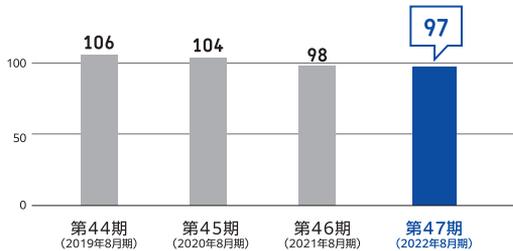
単位:百万円



店舗網 (2022年2月28日現在)

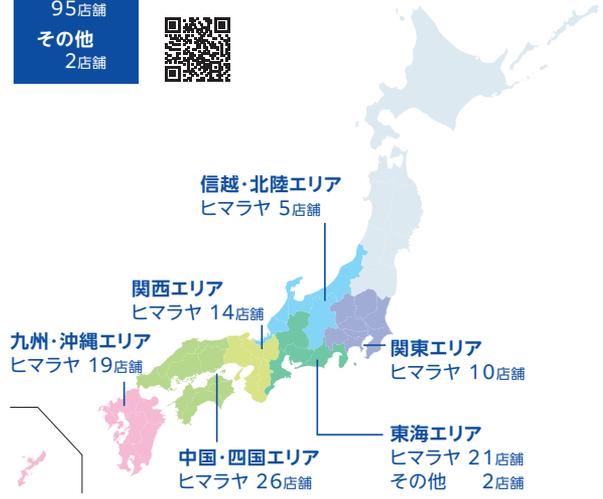
■ ヒマラヤ店舗数の推移

単位:店舗



最新の店舗網は
当社ホームページをご覧ください。

ヒマラヤ
95店舗
その他
2店舗



■ 新規出店案内

相模原古淵店

2022年3月18日(金)、神奈川県相模原市に「相模原古淵店」をOPENいたしました。

当店は野球・テニス・サッカーなどの競技用品はもちろん、ランニング・水泳・トレッキング用品など健康のためのスポーツ用品、そして最新のスポーツウェアやスポーツシューズを数多く取り扱う総合スポーツ用品店です。足型測定器による理想のシューズ選びや、テニスのガット加工、野球スパイクやグラブのメンテナンスなど、お客様にご納得いただけるサービスと商品選びのお手伝いをさせていただきます。地域の皆様に愛される“ヒマラヤスポーツ”を目指して、スタッフ一同心よりご来店をお待ちしております。





スポGOMI大会 in とよた

2021年10月6日(水) 名鉄豊田市駅付近(愛知県)



「ごみ拾いはスポーツだ!スポーツで街をキレイにしよう!」という合言葉の下、愛知県豊田市で開催されたごみ拾いイベントにリブレ豊田元宮店スタッフが参加しました。

チームごとに1時間で拾ったごみの重量を競うスポーツ大会で、参加した30を超える企業や学校、団体が力を合わせ、わずか1時間で総重量100kgを超えるごみを拾うことができました。これからも住みやすい街づくりに貢献し、地域の皆様に愛されるスポーツ用品店を目指してまいります。



SDGsキッズスタートアップアドベンチャー

2021年11月6日(土)~11月7日(日) 郡上市(岐阜県)



次代を担う小学生が一泊二日のアウトドア・アクティビティを通じて、SDGsをベースにした「世界のミライ」を学び、体感するイベントに協賛しました。当社が重点課題に設定する「SDGsの達成への貢献に向けた取り組み」の一環として協力しております。

イベントでは、当社が現在実施している地球環境に配慮した持続可能な試みを「ヒマラヤ特別授業」として子供たちに伝え、学んでいただきました。これからもSDGsを通じて、豊かな社会と地球環境の創造に貢献し、持続的な成長を目指してまいります。



中日ドラゴンズジュニアチーム サポート



毎年年末におこなわれるNPB12球団ジュニアトーナメントを戦うために結成された「中日ドラゴンズ学童チーム:中日ドラゴンズジュニア」をサポートいたしました。今年で7年継続しております。

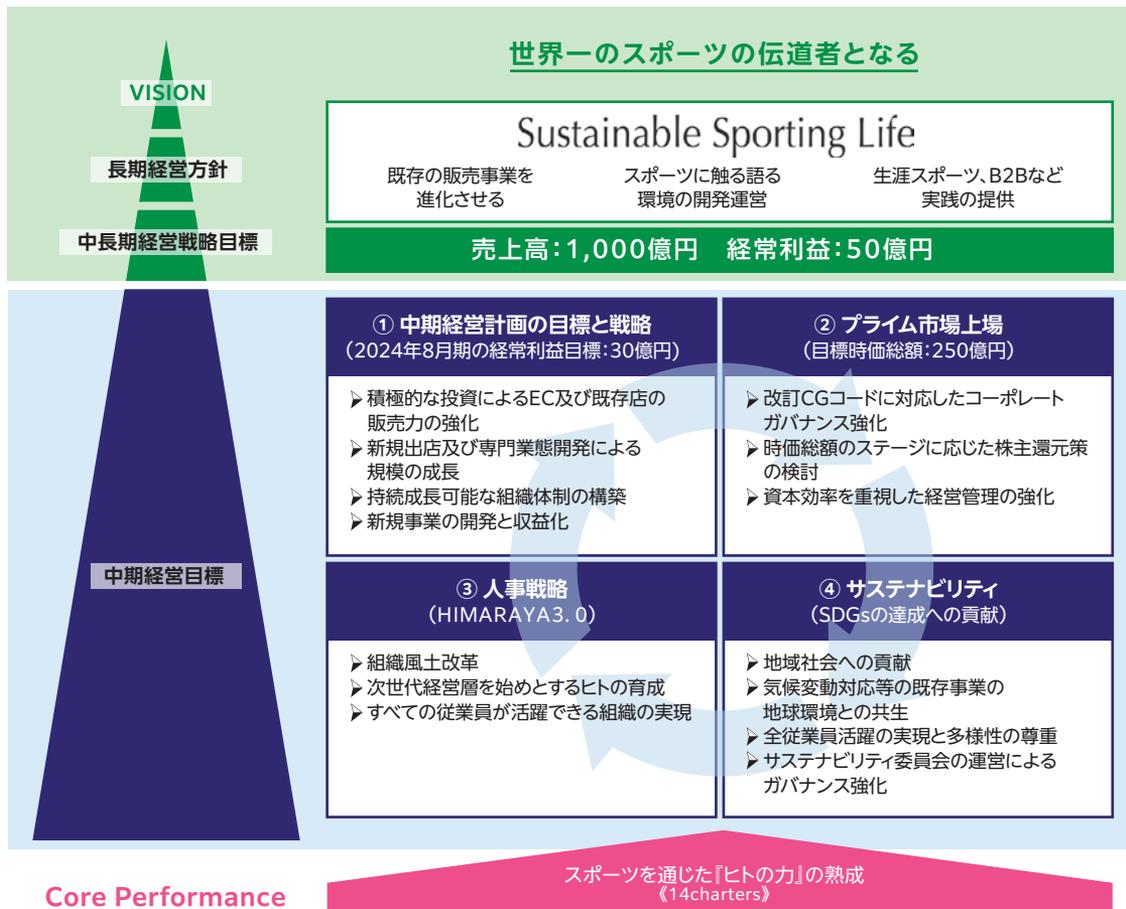
中日ドラゴンズジュニア2021はセレクションで選ばれた岐阜県・愛知県・福井県・静岡県出身の選手16名で結成され、憧れの中日ドラゴンズの選手と同じユニフォームを着て、同年代のプロ野球球団ジュニアチームが参加して開催される「NPB12球団ジュニアトーナメント」を戦いました。強力打線を武器に東北楽天ゴールデンイーグルスジュニアとの決勝戦を制し、ジュニアトーナメント史上最多となる4度目の優勝を勝ち取りました。「ヒマラヤがサポートしたドラゴンズジュニアチームに所属していました」と話すプロ野球選手が現れる日を夢見て、今後もスポーツを通じて青少年の健全育成に努めます。

※各イベントには、感染症対策に十分配慮して参加、活動いたしました。

中期経営計画

当社は、経営ビジョンである『世界一のスポーツの伝道者となる』を実現するために策定した長期経営方針をもとに、2022年8月期を開始年度とした中期経営計画を発表いたしました。

中期経営目標の全体像



ヒマラヤの持続可能な社会実現への取り組み

当社は「地球環境の改善と保全を意識した生活をする。そして、そのなかでスポーツが持つポジティブな価値を楽しみ、活用していくことが、豊かな生活の実現につながる」という考え方に基づくライフスタイルを「Sustainable Sporting Life」(「サステナブル・スポーティング・ライフ」)として定義しています。

この広がりをサポートし、豊かな社会と地球環境の創造に貢献していくことで、持続的な成長を目指すことを中長期の基本方針としております。

当社のサステナビリティに関する3つの重要課題 IMPORTANT ISSUES

当社では、これまでの社会や環境に対する貢献活動をベースに、当社の事業活動、およびこれを取り巻く環境、ステークホルダーの観点から分析・検討を行い、コーポレートガバナンスの強化とともに、今後、取り組んで行くべき3つの重要課題を設定しました。

重要課題 01 「Sustainable Sporting Life」の浸透

地球環境の改善と保全を意識した生活とスポーツを融合させた豊かなライフスタイルの発信を行っていきます。

- スポーツイベントや施設運営などを通して「Sustainable Sporting Life」(「サステナブル・スポーティング・ライフ」)の発信
- 遊休施設の再利用など、環境に配慮したスポーツ、アウトドア施設の企画・運営

重要課題 02 既存事業の地球環境との共生

事業を構成する様々な要素について改善可能性を追求し、自然との調和、環境へのストレス低減へつなげていきます。

- レジ袋を地球環境に優しい素材へ変更
- 自社ブランド商品の簡易包装化
- 本部、店舗における省エネ推進
- 物流の効率化による排気ガスの減少
- 廃棄予定商品の削減や再利用の推進
- DIGITAL化推進によるペーパーレス化

重要課題 03 全従業員活躍の実現と多様性の尊重

すべての人が目標に向かって、その個性を發揮できる「はたらく場」を作っていきます。

- 努力が報われる評価
- 次世代経営層を始めとするすべての従業員の教育・育成
- 主体性の促進
- ジェンダー格差のない活躍推進
- ワーク・ライフ・バランスの実現
- スポーツ参加環境整備による健康増進

当社は下記の6つの項目をSDGsの目標達成の重点項目として取り組んでおります。



H.M.R.Y. パフォーマンスメソッド

2022年1月22日(土)より3月12日(土)まで、甲南大学のサッカー部OBチームである甲南シニアサッカークラブへ、パーソナルフィットネストレーナーによる「H.M.R.Y.パフォーマンスメソッド」を提供しました。当社では、各種競技トップアスリートの専属トレーナーとして活動する谷田亮太氏の指導の下、NESTA(National Exercise & Sports Trainers Association)認定のパーソナルフィットネストレーナー資格(NESTA PFT)を保有するトレーナーチームを育成し、「H.M.R.Y.パフォーマンスメソッド」トレーニングセッションを通して、バランス能力の向上・柔軟性の向上・機能改善向上・有酸素能力向上・SAQ(速さ/敏捷性/俊敏性)の向上・身体能力向上・けがの予防改善などに貢献しています。これからも、アスリートが高いパフォーマンスを発揮・保持できるようサポートを行ってまいります。



せきてらす

2021年11月24日(水)より岐阜県関市の「せきてらす」が募集する「せきてらす共生広場の有効活用に向けた社会実験」の企画・運営業務を受託しております。本施設は観光・交流・発信を楽しむコミュニティスペースとして岐阜県関市に2021年3月19日(金)にオープンし、同施設の充実した室内設備を活かしたイベント等を通して数多くの利用者に親しまれております。施設の一部である共生広場「みんなのはらっぱ」(芝生エリア)は室内施設に比べ利用者数が少ないことが課題であったことから、当社による「焚き火」や「子供の遊ぶ機会」の企画・提供を通じて利用者の増加、さらには地域住民の方の暮らしの質と満足度向上を目指して取り組みを進めてまいります。



大津谷公園キャンプ場

2021年6月23日(水)より岐阜県揖斐郡池田町の「大津谷公園キャンプ場」の施設管理・運営業務を行っております。従来、大津谷公園キャンプ場は池田町の観光振興拠点として地域ならびに池田町を訪れる観光客に無料で開放されていましたが、昨今のキャンプブームにより利用者が増加する一方で、ゴミや火の不始末など一部の利用者マナーが悪化したことが地域の課題となっていました。これらの課題は当社の管理・運営を通じて大幅に改善していると地域の方から広く評価をいただいております。今後は地域、ならびに域外事業者と連携したイベント等を実施することで関係人口の増加、そして地域の賑わいづくりに資する取り組みを進めてまいります。

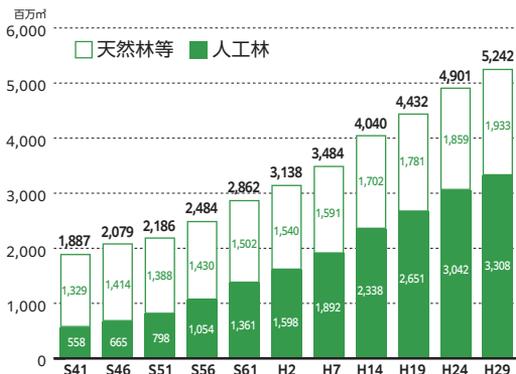


薪を通して健全な森林を受け継いでいく取り組み

近年、キャンプの醍醐味として注目されている焚き火。当社でも、従来より焚き火に使用する薪を販売していますが、社内でSDGsの取り組みが広がる中、企業として薪を販売することの意義、お客様がこの薪を買って使うことの意味について考えることにしました。

日本の森林問題に向き合う

薪の流通は、各地の林業従事者が森林から木を切り出すことから始まります。日本は国土の3分の2を森林が占めており、大きく人工林と天然林に分けられます。人工林とは、第二次世界大戦後の復興で必要となった建築資材を確保するために先人たちがスギやヒノキの苗木を植えて育ててきた、いわば「木の畑」です。日本の森林資源量の目安である森林蓄積の推移を見ると、人工林の森林蓄積が大幅に増加していることがわかります。これは戦後に植林された人工林が成長し収穫期を迎えているにも関わらず、使われていないことから起きている現象です。これは安価で大量に入手できる輸入材の利用が増えたことが大きな要因で、国内の木材自給率は35%にとどまっています。日本の森林資源が使われずに置き去りになってしまい、林業の担い手不足や高齢化もあって、森林の荒廃につながってしまったのです。



森林資源の現況(平成29年3月31日現在) 農林水産省
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/genkyou/h29/2.html>をもとに作成

持続可能な森林づくりへ

次は流通をさかのぼり、産地を訪ねました。当社で販売する薪の原材料は、石川県白山麓で伐採された間伐材。この地域も、同じような課題を抱えていたのです。森林の木々が適度な間隔を保ち、太陽光が地面に届くよう一部の木を間引きをする作業を間伐といい、森林の木々の健全な成長に欠かせない手入れの中で伐採された木を材料にしています。しかし、間伐材は利用されなければ廃棄され、林業者の収入になりません。現地を訪ね、林業に携わる方々のお話を伺い、間伐材の有効利用が健全で持続可能な森林づくりに役立ち、地域の林業の活性化にも貢献できることがわかったことから、改めて薪のPB商品の企画を見直すことにしました。目指したのは、「森林と林業の背景を知った上で購入し、使っていただける薪」です。

さらに、この商品の売上の一部は産地の林業者の方々の収益となり、白山麓の森林の維持管理や、植林の資金に還元されます。わずかな支援かもしれませんが、それでも一歩を踏み出すことが大切だと考えました。

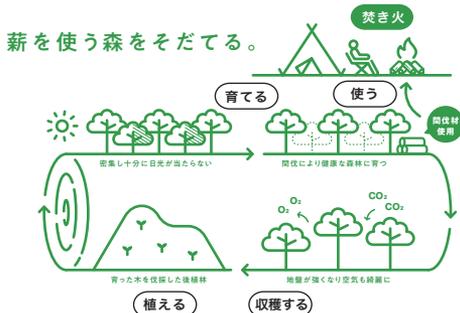


石川県白山麓の林業者の皆さんと



お客様と一緒に解決していく

この薪を購入し利用することで、白山地域の森の再生に貢献することが可能です。商品を作ることに携わる人たちの経済的な支援や資金となるだけでなく、植林により新たな森林づくりへとつながる循環の過程の中にあります。森林の再生サイクルにつながることは、子供や孫の世代に健全な森林を受け継ぐこと。このお話を商品の中に詰め込むことはなかなか難しいですが、少しでも伝えていく努力は必要だと考え、パッケージのデザインも工夫しています。



森林再生リサイクルのイメージ

白山麓の林業者の皆さんとともに開発したPB商品の薪。伐採した間伐材を6~8か月かけて十分に乾燥させたものを薪に加工し、箱に詰めました。2022年4月下旬より、火のつきが良く、火力の強い「杉の薪」と、火持ちが良く、火力の調整がしやすい「広葉樹の薪」の2種類を販売予定です。

HIMARAYA Online & Members



お客様の生活に合わせて、
ヒマラヤも進化します。

HIMARAYA ONLINE SERVICE

ヒマラヤオンラインストアでできること

HIMARAYA ORDER SYSTEM

ヒマラヤの店頭お取り寄せサービス

店頭受取なら送料 ¥0

HIMARAYA

ヒマラヤの店頭受取りサービス

店頭返品なら返送費用 ¥0

HIMARAYA

ヒマラヤの店頭返品サービス

ヒマラヤの
便利でお得な
会員サービス!



ヒマラヤメンバーズ 新規登録特典

店舗レジにて
会員証ご提示
または
オンラインサイトにて
クーポンご利用で

税込5,000円以上お買い上げの際
店頭表示価格より

500円引き

※他の割引特典（企画、割引券、優待券、クーポン、提携カード）との併用はできません。※一部除外品がございます。

■ 会社データ

商号 株式会社ヒマラヤ
(HIMARAYA Co., Ltd.)
代表取締役会長兼社長 小森 裕作
証券コード 7514
(東京証券取引所プライム市場および
名古屋証券取引所プレミアム市場上場)
本店所在地 〒500-8630
岐阜県岐阜市江添1丁目1番1号
TEL 058-271-6622(代表)
ホームページ <https://www.hmry.jp/ir/>
設立 1991年
資本金 2,544百万円
従業員数 687人(単体)
取締役(2022年4月1日現在)
代表取締役会長兼社長 小森 裕作
取締役 小森 一輝
取締役 後藤 達也
取締役 三井 宣明
取締役 川村 祥之
取締役 今井 美香(社外)
取締役(常勤監査等委員) 早川三根夫(社外)
取締役(監査等委員) 都筑 直隆(社外)
取締役(監査等委員) 伏屋 喜雄(社外)

■ グループ企業の状況

会社名 コアブレイン株式会社
資本金 100百万円
当社の議決権比率 100%
主要な事業内容 フルフィルメント事業

■ 株主メモ

株式の状況 発行可能株式総数 40,000,000株
発行済株式総数 12,320,787株
株主数(2022年2月28日現在) 11,823名
単元株式数 100株
事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会 毎年11月開催
基準日 定時株主総会 毎年8月31日
期末配当金 毎年8月31日
中間配当金 毎年2月末日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法 公告の方法は電子公告であります。ただし、やむを得ない
事由により電子公告をすることができない場合は日本
経済新聞に掲載いたします。
(ホームページアドレス <https://www.hmry.jp/ir/>)

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネットホームページ URL <https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/>

【株式に関する住所変更等のお届出および照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出および照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「[ほふり]」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社にて口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

HIMARAYA



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。



この報告書は石灰石から生まれた
新素材 LIMEXでつくられており、
水資源の利用を抑えています



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。